

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	介護概論 (Introduction to Nursing Care)		授業コード	E007351
担当教員名	奥田 憲昭ほか		科目ナンバリングコード	E20911
配当学年	2年	開講期	後期	
必修・選択区分	経営経済学科 選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件				
受講心得	社会福祉士試験に合格する力をつけることを目的とする。予習・復習を通じて教科書を繰り返し読むこと。指定した教科書は必ず購入して受講すること。			
教科書	社会福祉士養成講座 14 介護概論 (中央法規発行)			
参考文献及び指定図書				
関連科目	高齢者福祉論			

授業の目的	社会福祉士国家試験「高齢者に対する支援と介護保険制度」のうち、介護保険制度に関して社会福祉士国家試験に合格する実力をつけることを目的とする。
授業の概要	1. 介護保険制度の基本的枠組み、2. 介護保険制度の仕組み、3. 介護保険サービスの体系、4. 高齢者を支援する組織と役割、5. 高齢者支援の方法と実際、6. 高齢者を支援する専門職の役割と実際、7. 介護の概念や対象、8. 介護過程、9. 介護各論を理解する。

○授業計画	
学修内容 介護保険制度	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：第5章 介護保険制度の全体像</b>	予習:教科書p.124-136をよく読んでおく。復習:教科書を繰り返し読む。
・介護保険制度の全体像 ・介護保険制度の目的と理念 ・介護保険法の改正と方向性	
<b>第2週：第5章 介護保険制度の全体像</b>	予習:教科書p.137-145をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
保険財政 保険者と被保険者	
<b>第3週：第6章 介護保険制度の仕組み</b>	予習:教科書p.154-166をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
・要介護認定の仕組みとプロセス ・保険給付 ・介護報酬	
<b>第4週：第6章 介護保険制度の仕組み</b>	予習:教科書p.167-178をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
・介護支援事業 ・介護保険事業計画 ・サービスの質を確保するための仕組み	
<b>第5週：第7章 介護保険サービスの体系</b>	予習:教科書p.180-204をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
・介護サービスにおける専門職の役割と体系 ・居宅サービス ・施設サービス ・介護予防サービス ・地域密着型サービス	
<b>第6週：第8章 高齢者を支援する組織と役割</b>	予習:教科書p.206-215をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
・行政機関の役割 ・指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会の役割	
<b>第7週：第8章 高齢者を支援する組織と役割</b>	予習:教科書p.216-234をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
・地域包括支援センターの組織体系と役割 ・社会福祉協議会 ・ボランティア団体 非営利民間活動	
<b>第8週：第9章 高齢者支援の方法と実際</b>	予習:教科書p.236-247をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
・高齢者支援の方法	
<b>第9週：第9章 高齢者支援の方法と実際</b>	予習:教科書p.248-271をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
・介護保険法における連携と実際	
<b>第10週：第10章 高齢者を支援する専門職の役割と実際</b>	予習:教科書p.274-288をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
・専門職の役割と実際 ・専門職による協働 ・専門職の倫理 ・試験について	
<b>第11週：第11章 介護の概念や対象</b>	予習:教科書p.290-324を

・介護の概念と範囲 ・介護の理念 ・介護の対象 ・介護予防の概念		よく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第12週: 第12章 介護過程</b> ・介護過程の概要 ・介護課程の展開技法		予習:教科書p.326-346をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第13週: 第13章 介護各論①</b> ・自立に向けた介護 ・家事における自立支援 ・身支度、移動 睡眠の介護 ・食事、口腔衛生の介護 ・入浴、清潔、排泄の介護		予習:教科書p.348-378をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第14週: 介護各論②</b> ・認知症ケア		予習:教科書p.382-398を 予習:教科書をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第15週: 介護各論②</b> ・終末期ケア ・住環境		予習:教科書p.348-420をよく読んでおく 復習:教科書を繰り返し読む
<b>第16週: 期末試験</b> 期末試験		期末試験の準備をする
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
<b>備考</b>		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	教科書で予習をし、講義をよく聞き、復習することにより、専門職としての社会福祉士の仕事に関心をもつ。
<b>【知識・理解】</b>	講義で取り上げた内容をよく理解する
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b>	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	50点			
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	50点			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。				
<b>(「人間力」について)</b>				
※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	